

古室百美  
北海道教育大学 函館校  
人間地域科学課程 国際文化協力専攻 国際協力分野

## ワシントン大学 短期留学

今回私はアメリカシアトルにあるワシントン大学に3週間、留学を体験してきました。全体の印象として、毎日が刺激的で本当にあっという間の3週間でした。後悔してことは1つもなく、最高の思い出・最高の経験になりました。

ワシントン大学での授業は様々な日本の大学生と混ざって受けていくものでした。わずかですがアラブ系の学生もいて、刺激的なものでした。クラスはテストを受けレベル別で決められ、テストはリスニングと教師との質疑応答です。

授業は最初全くと言ってもいいほど聞き取ることが出来ず、焦る毎日が続きました。

しかし何日か経つうちに自然と耳が慣れるのか、何となくではありますが英会話での夢を見るほどにもなりました。次第に授業中に発言をすることもできるようになり楽しさを感じるようになってきました。

ホストファミリー先でも極力一緒に会話をするようにしました。特に、子供たちとは一緒に遊ぶことは私にとって英会話の勉強にもなりとても楽しいものでした。

子供は英語をゆっくり話すということはないので、最初は全く聞き取れなかったもののやはり数日一緒にいるうちに慣れてくるもので会話のスピードが速いと感じることもなくなりました。

大学では週に数回、授業終了後皆で買い物や美術館などにフィールドワークに行くことがありました。フィールドワークはシアトルを知るための絶好の機会でもあり、先生や町の人々と話すことで英語を学べるチャンスでもありました。フィールドワークでは水族館などの他に船に乗り、近くの島まで行くことありました。

では次に写真をいくつか載せて紹介したいと思います。

1枚目は大学校舎の一部です。ここは食堂と図書館になっていました。

2枚目はシアトルの観光名所の写真です。背景にあるカラフルな装飾は全て1度人が嘔んでから貼り付けたガムなのです。多少不衛生にも感じられますが可愛らしく、アートとして楽しめるものであり、多くの観光客が訪れていました。

3枚目はシアトルで1番高いと言われるビルから撮った写真です。留学した8・9月のシアトルはとても日が長く、夜の7～8時までは昼間のような明るさなのですが一気に日が沈むとこのように綺麗な夜景が広がります。

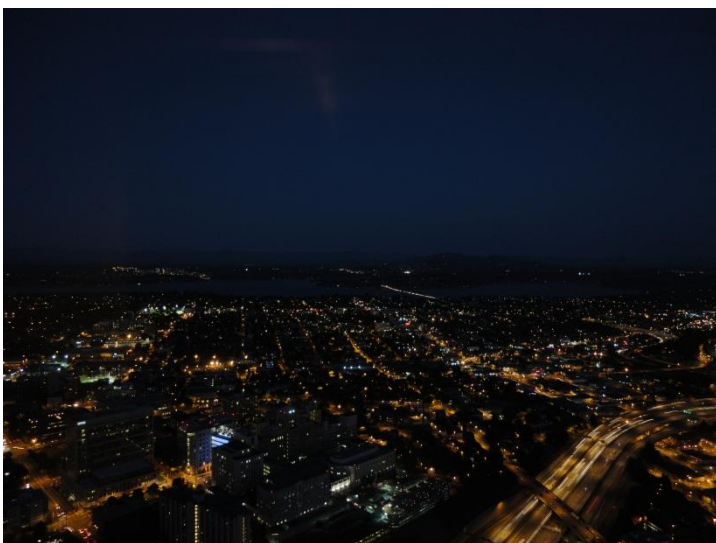
① 大学校舎



② シアトル 観光名所「ガムの壁」



③ シアトルの夜景



この留学を経験して私が伝えたいことは、怖がる必要はなく、どんな些細な理由でも興味があるなら検討してみるべきということです。

私は、個人的には留学を決める前段階が1番不安でした。費用のことで両親に迷惑をかけるのではないかと、理由を聞かれた時にはたして私は周囲の人々を納得させる理由を伝えられるのかなどの心配がありました。

ここの段階を乗り越え、準備を万全に整えてしまえばもうあと必要なのは勇気と積極性のみでした。何も恐れるものはありません。

現地についてからも聞き取れないなど悩みは出来ると思います。しかし今思えばそれも良い経験であり楽しかったと感じます。不安は行けば解消されます。

最後に、留学をしたいと思うには様々な理由があると思います。ただの海外に対する好奇心から留学したいと思うことや、本気で英語を学んでみたい、青年海外協力隊など将来必ず英語を使うような職業に就くために留学してみたい・・・

どんなことがきっかけでも価値はあると私は伝えたいです。

短期留学ではありますが、帰国後自分の中で様々な変化を感じました。

今回その機会を与えていただいた周囲の人々に感謝をして、この気持ちを忘れずに今後の大学生活をより充実したものにしていきたいなと思います。

ありがとうございました。